

Interview with Mike

Q: You have been with us at Kofu Nishi-Ko for a year. Is your impression about our school different from that of last year?

A: I didn't know what to expect last year! I had never been to a Japanese high school. However, when I tell people that I work at Nishi-Ko, they are always very impressed. I think it has a very good reputation in the community and that makes me proud. Of course, I also love to watch all of the clubs! Everyone is so talented and hard-working, it's really inspiring.

Q: We enjoy your broadcasting, English Extravaganza, during Wednesday lunch break. You talk about various things. How can you come up with(を思いつく) the topics? Also, please tell us about the music.

A: It's really hard to think about topics sometimes! After the exams in September, I want to make it easier for students to tell me what *they* want to hear about. It's hard to pick a topic that is both easy-to-understand *and* interesting, but maybe if we work together we can find some good ideas.

As for the music, I want to expose(～を…に触れさせる) the students to music they probably have never heard before—so I try to find something new (and a little underground!) every week. I also try to find a variety of music, so that every student can hear something they like. Of course, I only pick music that I listen to and enjoy, too!

Q: You have visited many places in Japan. Which is your favorite place? Do you have a plan to go to some other places?

A: Home - definitely my apartment, ha-ha! I actually really like Shizuoka. It's very peaceful yet not too small. I have been to almost every region of Japan except one - Okinawa! I also want to spend more time in Shikoku.

本校ALTのマイケル先生のお昼の放送の原稿と音声に西高ホームページからアクセスできます。<西高ホームページ>→スクールライブ→お知らせ→Broadcast>



留学・国際交流プログラムあれこれ

1 米国短期留学＜甲府西高主催＞

本校ではロサンゼルスにあるCampbell Hall School（キャンベルホールスクール）と2010年から交流プログラムを行っています。今年度は2016年3月5日から18日まで同校を訪問し、生徒の家庭にホームステイしながら、授業や学校行事への参加、UCLAへの訪問、日本文化紹介等々を行う予定になっています。今年度も充実した短期留学となるように準備していきます。（写真は前回の短期留学時のもの。スペースシャトルの前にて）



国際教育係では、本校での短期留学プログラムの他に様々な留学の支援を行っています。留学プログラムを随時案内していますが、最近新しく導入された企画もありますので、紹介します。興味がある場合は、是非相談にきてください。

2 山梨県高校生留学促進事業（長期）

学校長の推薦を受けて、留学期間が原則として1年以内、留学先が外国の高等学校であれば応募できます。年度初めの応募ですが、応募時点で留学先が未定でも出願できます。選考されると30万円を上限とする留学支援金が受給できます。山梨県で若干名の生徒がこの制度を利用して、留学しています。

3 トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

2の事業と異なり、これは日本の高校生なら誰でも応募可能です。①アカデミック ②スポーツ・芸術 ③プロフェッショナル ④国際ボランティアの4つの分野から、やりたい分野を選び、自分で留学計画を作成して申請します。留学期間は14日以上3ヶ月以内です。奨学金・渡航費・授業料が支援され、応募者の費用負担はほとんどありません。公募期間は1月～2月頃です。業者の留学プランを活用して計画を立てることもおすすめのようなので。

4 グローバル人材育成留学プログラム

大変立派なプログラム名ですが、山梨県と姉妹都市のアイオワ州でホームステイをし、国際交流体験をする事業です。昨年度までは夏休み中に行われましたが、今年度は3月10日から17日に変更されました。山梨県教育委員会から10万円補助金が支給され、自己負担は15～20万円程度です。学校長の推薦書・出願調書・小論文・英語の能力を証明する書類の写しなどがが必要です。

英語検定について

英語検定やTOEFLなど外部団体の英語能力をはかる資格などを大学入試等で活用する動きが盛んになってきています。本校でも多くの生徒が受験し、資格を取得している英検が、来年度の1回目（6月7日・7月5日）の試験から、2級の1次試験にライティングを導入することに決定しました。問題の見本例は、次のようなものです。

以下のTOPICについて、あなたの意見とその理由を2つ書きなさい。語数の目安は80～100語です。

TOPIC: These days, some people buy things on the Internet. Do you think more people will do so in the future?

更に、英検協会では、準2級や3級でも順次ライティングを導入して、1級・準1級と同様、4技能化を図っていくようです。詳細は英検協会のホームページを参照してください。

今年度の第3回英語検定は

- 受付期間 平成27年12月1日～22日 ! 2年次生は調査書に記入できる
 □試験日 ・1次試験平成28年1月24日 最後のチャンスです!
 ・2次試験平成28年2月24日

